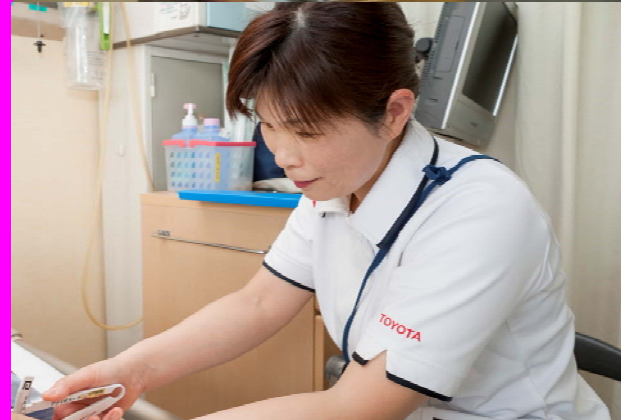




食べる事 生きる事
人としての尊厳を守りたい。



摂食・嚥下障害は、誤嚥・窒息・栄養障害など様々なリスクと共に食べる楽しみが失われます。適切な評価、訓練援助を行う事により、安全に口から食べQOLの向上が図れる事を目指しています。様々な職種と協働し、栄養評価を行いながら幅広い視野で関わるようにしています。



人と人をつなぐ「食」という時間を
最期まで大切にしたい



人にとって「食」とは、生きていくために必要な栄養源。
しかし、それだけではなく、「楽しみ」「癒やし」「人とのコミュニケーションの場」
など、生活の中で人と人をつなぐ大切な時間です。

高齢社会において、嚥下障害に悩む人は増加傾向にあります。
そのため、その人達と共に嚥下障害に向き合い、他職種と連携しながら、最期まで
「食という大切な時間」が継続できるように支援していきます。